

竹林寺様 大工工事・屋根瓦工事が順調に

雨ばかりが続いた九月が過ぎ、一月に入り天候も良い日が続いた一七・一八日と竹林寺様の住職と檀家さん六名のかたが、淡路島の鬼板師・鬼忠さんを訪ねました。淡路島まで長い道のりでしたが、今回の目的は寄付した鬼瓦に檀家さんが名入れをするためです。

棟の鬼瓦は「鬼面大鬼瓦」といい縦二尺五寸。横二尺での大きさで、荒地の段階までできています。これで最後の仕上げを行い、乾燥後焼き上げます。この鬼瓦は来年の二月頃に竹林寺様の本堂の屋根に上がります。



鬼瓦の前で記念撮影

この度、竹林寺様本堂新築工事に棟梁として携わる事ができ、たいへん光栄に感じております。また今回の本堂は向拝軒唐破風、入母屋振隅、そして限界耐力計算を用いた石場建て工法など、当社においても希少な建築様式となっており、一職人としても少しでも堂宮大工冥利に尽きる工事であります。昨年の寒明け頃より現寸書きが始まり、墨付け・刻みを経て今年三月に上棟、

現在は内部の造作工事を行っております。大工である私にとって大工仕事を行う事は常であります。竹林寺様には、世紀の大事業である事を肝に銘じ、無事の落成に向け、一所懸命に進めて参りたいと思っております。また新本堂、位牌堂、檀信徒会館が未



小澤克郎は
技能五輪全国大会
で2年連続敢闘賞

竹林寺様棟梁
小澤克郎

この度、

天峰建設様、竹林寺様、檀信徒の皆様との有難いご縁から、本堂の瓦工事に携わらせて頂き心より感謝申し上げます。



現在、竹林寺様の本堂瓦工事は、本堂建築にとって大変重要な箇所である向拝の唐破風部分、取合いの谷部分を施工中で、順調に本瓦葺き工事が進んでおります。

更に、この度の本堂建立にあたり、「二百年、三百年とその歴史と記述を後世に残す事」「檀信徒の皆様的心愿」を目的に進めて参りました志納瓦も、皆様の思いと共に随時本堂の屋根に納めさせて頂きます。

また、先日はご住職、役員の皆様方と鬼瓦に志納記名の為、鬼板師の兵庫県淡路島まで出向かせて頂きました。初春には、禅宗寺院様に最適な鬼面鬼瓦が、大屋根に鎮座した勇壮な姿をお見せ出来ると思っております。

(株)瓦粹 代表取締役 塚本勇人

全海寺様地鎮式

磐田市



全海寺様

(曹洞宗・

西垣邦彦

住職)は以

前より本

堂の新築

の計画が

あり、この

度檀家の

皆様の理

解と協力

が得られ、

弊社と工

事請負契

約を結ん

でいただきました。すでに位牌堂などの曳家の工事に入っていますが、十月三日に本堂の地鎮式を行いました。総代さんや檀家の方々も参列してください、これからの工事の安全を祈りました。

すでに佐野棟梁が現寸書きも終わり、材木の刻みに入っております。来年の四月に上棟式を予定しているため、その時は上棟式の様子もお知らせさせていただきます。

四脚門上棟式

蓮華寺様

一〇月一二日

には駿東郡清水

町の蓮華寺様で、

四脚門の上棟式

を行いました。

天候に恵まれた

二日間で予定通

り順調に工事が

進みほつといた

しました。岩渕

棟梁もこれまで

に数々の上棟を

経験していますが、どの現場も工事の大小

にかかわらず上棟

には大変気を使

います。

上棟式には檀家

の皆様にも参加

していただき、住

職の読経が響き

渡る中、上棟を祝

い、また工事の安

全を祈願して手

を合わせていま

した。



新栄社屋台完成・磐田市栄町



磐田市栄町は昨年の火事で屋台が焼けてしまい、府八幡宮の祭典には参加できませんでした。地区住民の願いが叶い新しい屋台の入魂式が行われました。屋台再建には町内の方々をはじめ、近隣の自治会からも義援金が寄せられ、皆さんの協力により実現できました。

九月二二日の入魂式には近隣の祭典関係者も招待され、府八幡宮の幡鎌宮司による神事が行われました。また県立横須賀高校の伝統芸能部の息の合った「お囃子・手古舞」も披露され、参加者は掛け声とお囃子に引き込まれていました。

「体制整備」

日本テンブルヴァン(株)井上拓郎

「PDCA」

今、巷では「PPAP（ペン・パイナッ
プル・アップル・ペンの略）」が、流行っ
ておりますが（ご存じない方は、聞き流し
て下さい）、PDCAとは何の略語かご存
知でしょうか？ここで言うPDCAは、P
（プラン）、D（ドゥ）、C（チェック）、
A（アクション）の略語です。PDCAサ
イクルともいい、この意味は、事業活動に
おける生産管理や品質管理などの管理業務
を円滑に、また健全かつ適切に進める為の
手法の事を言います。元々は、第二次世界
大戦後のアメリカで、品質管理における体
制整備の構築について、ウォルター・シュ
ーハート、エドワード・デミングら二人の
博士によって、提唱されたのが始まりで
す。このPDCAサイクルは、日本の製造
業に大きな影響をもたらしたと言っても、
過言ではありません。最近では、製造業に
限らず、多くの管理業務でも取り入れられ
ております。PDCAの詳細は次の通りで
す。

一、PLAN（計画）

事業における業務計画を作成する

二、DO（実行）

計画に沿って業務を実行する

三、CHECK（評価）

実行した結果を確認、及び評価する

四、ACTION（改善）

計画に沿っていないところを改善する

※PDCAサイクル

P ↓ D ↓ C ↓ A を繰り返し行う

日頃の寺院運営において皆さんはどう
されていますか？このPDCAについて、
明確に何か整備されていますか？建築計画
や周年事業の際には、意識せずとも行なわ
れている方が大半だと思います。ご寺院の
場合には、こういった事業計画の際、総代
や責任役員も一緒に事業に参画されると思
いますが、C（評価）、A（改善）において
は、厳しい意見をいただいた方が、後々に
事業が上手く行くことが多いと言われてお
ります。日頃からPDCAサイクルが遂行
される体制整備をされる事をお勧めします。

「顧客満足度」

先の話では、PDCAサイクルの体制整
備についてでしたが、これは品質の向上、
またはサービスの向上を目的としたルーチ
ンワーク（反復作業）ですが、最終的な目
標として、顧客満足度を向上させる一つの
手法と言ってもいいかも知れません。

昨今の寺離れ（宗教離れ）は、こういっ
た顧客（お寺にとつての檀家）の満足度が
低下してきた事も要因の一つかも知れませ

ん。勿論、今まで通りにご法務を行なっ
ても、それを受ける顧客（檀家やご法務
を依頼する者）の価値観が変わってきてい
るのかも知れません。一般的に顧客満足度
の方程式は、以下のようになっています。

**顧客満足度 = サービスの品質 × 提供
する側の幸福度 ÷ 顧客が支払った価格**

（本来はサービスの品質に、顧客期待度
を反映させますが、ここでは判り易く省き
ました）

ここで大事なのは、提供する側の幸福度
（満足度）も分母に関係すると言う事です。
当然、分母が大きいほうが、顧客満足度が
高くなると言う事になります。そして分母
（サービスの品質 × 提供する側の幸福度）
が大きくなれば、分子（顧客が支払った価
格）を高く設定する事が可能となる訳です。
最近、ネットで僧侶派遣とか、お布施の
定額表示などの問題においては、支払う価
格が明確な上、サービスの品質をさほど求
め無い顧客が、結果として満足度が高いと
錯覚し、依頼する方が増えているのだと思
います。しかし、実際のサービスの品質と
提供する側の幸福度は、高いのでしょうか？
私は、決してそうでは無いと思います。
こういった顧客満足度の低下により、最
終的に事前期待度と事後の顧客満足度との
乖離によって、より一層寺離れが深刻にな
らないか危惧するところでありませぬ。

前号でもお知らせしたとおり今回は日本の世界遺産についてです。日本は先進国では最後の一九九二年に世界遺産条約を批准し、一二五ヶ国目の締約国になりました。

現在日本の世界遺産登録数は二〇（文化遺産一六・自然遺産四）で、以下のようになります。

※文化遺産（登録順）

- ・ 法隆寺地域の仏教建造物
- ・ 姫路城
- ・ 古都京都の文化財
- ・ 白川郷・五箇山の合掌造り集落
- ・ 原爆ドーム
- ・ 厳島神社
- ・ 古都奈良の文化財
- ・ 日光の社寺
- ・ 琉球王国のグスク及び関連遺産群
- ・ 紀伊山地の霊場と参詣道(熊野古道)
- ・ 石見銀山遺跡とその文化的背景
- ・ 平泉―仏国土を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群
- ・ 富士山―信仰の対象と芸術の源泉
- ・ 富丘製糸場と絹産業遺跡群
- ・ 明治日本の産業革命遺産
- ・ 国立西洋美術館（ル・コルビジェの建築と都市計画の一部として）

※自然遺産（登録順）

- ・ 屋久島
- ・ 白神山
- ・ 知床
- ・ 小笠原諸島

静岡県に住む者にとって身近な富士山も世界遺産に登録されているのは皆さんよく知っていると思います。富士山は一九九〇年代初めから世界遺産に登録しようという運動が活発になり、当初は自然遺産への登録が検討されてきました。一九九五年に開催された「自然遺産富士山国際フォーラム」において火山としての平凡性や固有種の生態系がないと国際自然保護連合から指摘され、また環境管理（特にゴミ問題）が困難なため推薦が見送られました。二〇一三年に世界文化遺産として登録されました。一言で富士山と呼んではいますが、世界遺産として登録されているのは富士山の中と近辺にある自然や湖、寺院など一八の資産で構成されています。富士山は古来より日本人の生活や信仰、芸術と密接に結びついており切っても切れない関係にあるため、単なる自然以上の存在として受け止められてきた、という文化的な価値が認め

められたということでしょう。

一度登録された世界遺産はその景観を守らなければなりません。景観を守るために不便なことも、お土産店のポスターは禁止、また自分の土地にある木を切るにも市の許可が必要になります。そしてこれまでに取り消された世界遺産もあり、それはドイツのドレスデン・エルベ渓谷です。二〇〇四年に登録されましたが、住民の不便を解消するためにエルベ川に全長六三五mの橋をかけました。それが景観を損ねるという理由で取り消されたのです。しかしドレスデンは世界遺産を取り消された唯一無二の観光地として観光客は増加しているようです。

また国内で今後登録を目指すのは、長崎の教会群とキリスト教関連遺産や宗像・沖ノ島関連遺産群などがあります。

